

授業科目	応用時事英語				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	EN31302J		
開講年次	3	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-3 DP5-1 DP5-2			
担当教員	野中 誠司							
授業概要	時事英語入門で学習した内容をもとに、より発展性の高い授業を行います。授業の展開は基本的に入門と同じですが、記事を読み、聞く内容および分量が、入門よりも大幅に増加します。記事の背景知識をもとに意見交換やディスカッションをする機会も設けたいと考えています。入門同様、最新の時事英語を日々更新しているウェブサイト RNN 時事英語辞典も活用しながら、小テストによってその理解度を確認していきます。場合によっては、受講人数制限を行うことがあります。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英文記事を読み、聞くために必要な語いや語法および文体を理解し、実際に運用できる。</li> <li>2. 英文記事に特徴的な構文や段落構成を理解し、文脈に沿って内容を理解し、相手に説明できる。</li> <li>3. 記事を読んで得た情報や、語いおよび表現を活用し、その分野について意見交換ができる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	30	0	0	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)	10	5				5	20	
知識・理解 (DP1-2)	10	10				5	25	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10	5					15	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	5	0				5	10	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)	5	0				5	10	
技能・表現 (DP5-1)	5	5					10	
技能・表現 (DP5-2)	5	5					10	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
1. 国内外のさまざまな時事的内容に対する背景知識を有し、自ら積極的に日本語と英語でそれぞれの確に説明できる。 2. メディアから発信されるニュースや記事の中から客観的事実のみを精選し、自分の考えや意見を日英双方で発信できる。				1. 国内外におけるニュースや記事について、必要最低限の単語や表現を援用しながら、内容を日英の両方で理解できる。 2. メディアから発信されるニュースや記事について、主体的に情報を検索し、内容について比較検討、取捨選択ができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	2022年9月のリーディング記事			講義		該当記事の予習および復習		60

2	2022年10月のリーディング記事	講義	該当記事の予習および復習	60
3	2022年10月のリーディング記事	講義	該当記事の予習および復習	60
4	2022年10月のリーディング記事	講義	該当記事の予習および復習	60
5	2022年10月のリーディング記事	講義	該当記事の予習および復習	60
6	2022年11月のリーディング記事	講義	該当記事の予習および復習	60
7	中間試験, 2022年11月のリーディング記事	講義 小テスト	該当記事の予習および復習	60
8	2022年11月のリーディング記事	講義	該当記事の予習および復習	60
9	2022年11月のリーディング記事	講義	該当記事の予習および復習	60
10	2022年12月のリーディング記事	講義	該当記事の予習および復習	60
11	2022年12月のリーディング記事	講義	該当記事の予習および復習	60
12	2022年12月のリーディング記事	講義	該当記事の予習および復習	60
13	2022年12月のリーディング記事	講義	該当記事の予習および復習	60
14	2023年1月のリーディング記事	講義	該当記事の予習および復習	60
15	後期のまとめおよび総復習	講義	該当記事の復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	テレビ, ラジオ, 新聞, インターネット, SNS などさまざまなメディアから発信される情報は, その言語にかかわらず, 自ら比較検討, 取捨選択することが大切です。日頃からそうした意識をもつように心がけてください。			
テキスト	なし。適宜プリントを配付します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて講義の中で適宜紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> <li>履修登録名簿をもとに, 座席を指定します。席について希望があれば, 開講日に申し出てください。</li> <li>指定した記事には, 事前に必ず目を通しておいてください。その際, 予習した内容は, プrintに直接書き込まず, すべてノートに記入するようにしてください。</li> <li>新聞, テレビ, ウェブ等で, 国内外の話題に興味や関心を持ち, まずは日本語で自分の意見や考えを形成し, 発信できる能力を身につけるように心がけてください。</li> </ol>			
達成度評価に関するコメント	試験および小テストの内容については, 講義の中で説明します。挙手による発表など積極的に授業へ参加している点(達成度評価の「その他」に相当)も, 成績評価に反映します。欠席等のあつかいについては, 教務事項内の欠席の規定にしたがって適用します。詳細は開講日に説明しますので, 必ず出席してください。			

